

新技術等登録申請用紙

受付 No.※1	MA030225-74		申請年月日※1	令和3年2月25日		
開発者等	会社名	日本ハイコン株式会社		担当部署	営業部	
	住所	米子市彦名町4500		担当者	山下 修一	
	TEL	0859-29-0561		FAX	0859-29-4870	
	E-mail	s-yamashita@n-haikon.co.jp		URL:	https://n-haikon.co.jp/	
	共同開発の会社名	シンレキ工業株式会社		開発年月	2019年4月	
新技術名称	歩車道境界SEブロック(エプロン一体型) 防草タイプ					
概要	<p>雑草は、コンクリートとアスファルト舗装の空隙部に飛来した植物の種子が入り込み、根を張る事で繁茂します。雑草が繁茂することにより、次ような支障(問題点)が発生します。</p> <p>①通行車両から歩道、路肩の視認性を妨げる。 ②道路利用者の安全な通行の妨げとなる。 ③舗装のクラック等の要因となる。 ④雨水の排水機能を妨げる。 ⑤景観性を損ねる。 ⑥道路の維持管理費を増加させる。</p> <p>雑草の繁茂を抑制する新技術として、防根材を配合したブチルゴム(ポーソーシール®)とエプロン一体型の歩車道境界ブロック(SEブロック)を組合わせた防草仕様の歩車道境界SEブロック(エプロン一体型)を開発した。これまでは構造物の舗装側面にブチルゴムを貼り付けて対応していたが、ブチルゴムが構造物より飛び出す形となり、製品際の転圧不足が懸念されることから、歩車道境界ブロックにブチルゴムを装着するスペース(切欠き)を設けることで舗装側面をフラットにして製品際まで十分な転圧が出来るように改良を行った。</p> <p>【ブチルゴム(ポーソーシール®)を装着することによる利点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空隙の発生は、振動や材質の伸縮量の違いが原因であり、それに対してブチルゴムが追随し、空隙を防止する。 ・ブチルゴムには、防草剤が配合されており、雑草の繁茂を抑制する効果がある。また、防草剤は、地中や水中に拡散しないため、近隣の環境に影響を与えないとともに、長期間(10年以上効果確認)にわたって効果が持続する。 					
分類 (該当欄に○)	工法	施工機械	材料	製品		
新技術等の対象条件 (該当欄に○)	ア 県内に存在する本支店や製造工場により開発されたもの				○	
	イ 主として県内産資材を使用し、県内に存在する製造工場により生産されたもの				○	
活用効果	比較する従来技術		エプロン一体型歩車道境界ブロック			
項目	活用の効果			比較の根拠		
機能性	向上	同程度	低下	雑草の繁茂を抑制することにより、コンクリート製品および、アスファルト舗装の機能性が損なわれない		
耐久性	向上	同程度	低下	従来製品と同等		
施工性	向上	同程度	低下	従来製品と同等		
安全性	向上	同程度	低下	従来製品と同等		
施工時の自然環境への影響	低下	同程度	増加	従来製品と同等		
コスト削減	向上(%)	同程度	低下(15%)	従来製品に雑草抑制機能を付加するため、製品単価はアップする		
工程	向上(%)	同程度	増加(%)	従来製品と同等		
施工実績 (施工実績が多い場合は直近の工事3件を記載し、その他は別添(任意様式)とすること。なお、施工実績は、申請時点で完了している工事を対象とすること。)	県内公共工事 3 件			県外公共工事 件		
	発注者名	工事名	工期	発注者名	工事名	工期
	米子市	米子インター周辺工業用地整備に係る工業団地内幹線道路改良工事	2020.3			
	米子市	米子インター周辺工業用地整備に係る工業団地内補助幹線道路ほか1改良工事	2020.3			
	境港管理組合	外港竹内南地区貨客船ターミナル整備事業(頭用地舗装工事(6工区))	2021.3			
国関係機関による技術審査証明や評価※2	制度名				証明機関	
	名称及び番号				証明年月日	
その他機関による証明や評価	制度名				証明機関	
	名称及び番号				証明年月日	
特許、実用新案	名称及び特許番号				取得年月日	
NETIS登録	名称及び登録番号				登録年月日	

特 徴																		
■長 所 ・従来製品と同形状(特殊な突起等を設けない)であるため、舗装工事時に製品際までの十分な転圧が可能となる。 ・車道と歩道両側の雑草の抑止ができる。 ・道路利用者の安全な往来が確保できる。 ・雑草を抑止することで、視認・視距性が確保できる。 ・除草作業の維持管理費を軽減できる。 ・コンクリート製品・アスファルト舗装の機能性が損なわれない。																		
■短 所 ・従来製品に雑草抑止機能を付加するため、製品単価はアップする。																		
適用条件																		
■適用可能な範囲 従来型のエプロン一体型歩車道境界ブロックと同様(切下げ、カーブ区間部も含む)。																		
■適用できない範囲 特になし																		
留意事項																		
■設計時 従来製品と同様の設計																		
■施工時 表層の施工時にプチルゴムの保護シーンを排除する。																		
■維持管理時 基本的にメンテナンス・フリー、イージーである。 表面に堆砂した土砂の維持管理は必要である。																		
従来技術との施工単価の比較																		
従来製品と比べ、製品単価は15%増加する(施工手間は同様)。※従来技術の製品単価はR3.2.10																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th colspan="3">製品価格</th> </tr> <tr> <th>従来技術</th> <th>新技術</th> <th>価格比率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歩車道境界ブロック エプロン一体型フラットタイプ L=2000mm</td> <td>21,300 円</td> <td>24,500 円</td> <td>115%</td> </tr> <tr> <td>歩車道境界ブロック(半高) エプロン一体型フラットタイプ L=1000mm</td> <td>10,700 円</td> <td>12,000 円</td> <td>112%</td> </tr> </tbody> </table>				名 称	製品価格			従来技術	新技術	価格比率	歩車道境界ブロック エプロン一体型フラットタイプ L=2000mm	21,300 円	24,500 円	115%	歩車道境界ブロック(半高) エプロン一体型フラットタイプ L=1000mm	10,700 円	12,000 円	112%
名 称	製品価格																	
	従来技術	新技術	価格比率															
歩車道境界ブロック エプロン一体型フラットタイプ L=2000mm	21,300 円	24,500 円	115%															
歩車道境界ブロック(半高) エプロン一体型フラットタイプ L=1000mm	10,700 円	12,000 円	112%															
施工歩掛 <input checked="" type="checkbox"/> 県土木工事標準積算基準書 <input type="checkbox"/> その他公的機関が制定した基準 (基準名:)) <input type="checkbox"/> 協会歩掛(協会名:)) <input type="checkbox"/> カタログ歩掛、 <input type="checkbox"/> 無	材料単価	<input type="checkbox"/> 掲載あり (<input type="checkbox"/> 建設物価、 <input type="checkbox"/> 積算資料) <input checked="" type="checkbox"/> 無																
残された課題と今後の開発計画																		
道路側溝類などに幅広く製品展開を行い、維持管理費の削減および、アスファルト舗装の耐久性向上を図る。																		
添付資料																		
資料-1製品パンフレット	資料-5鳥取県グリーン商品SEブロックデータ	資料-2プチルゴム資料	資料-6プチルゴム仕様データ															
資料-3製品図面	資料-7製品単価(見積り)	資料-4施工状況写真																

※1 は記入しないでください。

※2 新技術情報提供システム(NETIS)の場合、事後評価を受けたものが対象となります(登録のみは対象外)。

※ 記入欄が不足する場合は、別紙として添付してください。